

2. 成人保健分野

【目標】「自分の健康は自分で守る」という意識が浸透し、疾病の予防と発見、治療につながって

市民の健康寿命が延伸すること

〈評価指標〉

評価項目	策定時 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)	(令和5年度)	結果
健康づくり啓発事業の参加者数	15,641人	16,000人以上	16,248人	達成
1日の平均歩数	(男性) 7,700歩	8,700歩以上	6,315歩(*)	未達成
	(女性) 5,800歩	6,800歩以上	5,753歩(*)	未達成
主食、主菜、副菜の揃った食事を 1日2食以上食べている人の割合	55.7%	58.0%以上	56.0%(*)	未達成
大腸がん検診受診率(40～69歳)	4.9%	5.4%以上	3.5% (1,108人/32,108人)	未達成
乳がん検診受診率(40～69歳)	13.3%	13.8%以上	14.3% (受診者 1,247人)	達成
歯周疾患検診受診率	4.8%	8.0%以上	5.0% (242人/4,825人)	未達成
特定保健指導実施率	24.8%	60.0%以上	40.4% (154人/381人)	未達成
地域リハビリテーション指導が 必要な家庭への訪問等での支援割合	100%	100%	100% (498人/498人)	達成

(*)令和6年市民アンケートより

〈成果と課題〉

□成果

- ・市公式LINE登録者の増加
- ・健康づくり啓発事業の参加者の増加

□課題

- ・バランスの良い食事を摂る人の割合が、特に40歳50歳代で低い。
- ・大腸がん検診受診率は低下傾向。
- ・歯周疾患検診の受診率は横ばいで、策定時と変化が少ない。
- ・特定保健指導の実施率は、上昇傾向も目標値には届いていない。
- ・平均歩数は男性が減少、1日の歩行時間も休日は平日より少ない。

〈今後の方向性〉

◆普及啓発・情報発信

- ・より良い食習慣への取組の実施
- ・市の公式LINEの活用の推進
- ・各種がん検診、歯周疾患検診の受診率の向上に向けた取組の実施

◆健康教育・保健指導

- ・特定保健指導や糖尿病重症化予防事業の実施率の向上に向けた取組の実施

◆壮年期や関心が薄い層へのアプローチ/ICTの活用

- ・健康マイレージ事業の継続による健康無関心層への働きかけの実施